

## 請願・陳情

●完璧な猿害対策を求める請願書

# 採 択

## 猿害対策に

## 講ずる意見を

## 町へ申入れ

この請願書は、9月定例会において、野方地区、原口操氏他4名、紹介議員後迫哲矢、吉原信雄、岩田秀一3議員から提出されたもので、産業建設委員会に付託され、閉会中の継続審査となっていたものです。

産業建設委員会では、地元住民との意見交換、現地調査を行い、高隈山系の広葉樹林が伐採され、針葉樹林に変わり、猿の餌が無くなった事が最大の原因であり、猿による農作物等の被害は、福岡、立小野、曲、篠段、横内、黒石、大佐土原集落まで拡大していることが判明しました。

このようなことから請願を採択し、委員会での意見を議会の意見とし議長名で次のとおり町当局に申入れを行いました。

1 町当局は、担当課に必要な数の係職員を配置し、対策を講ずるとともに

地元民との連絡を密にすること。  
2 担当課は、関係者を含め、協議会を設立し、早急に猿害対策を講ずること。

3 関係市町村を含め広域的な協議会を設立し、猿害対策を講ずること。  
4 県・国に対して、猿害対策に係る何らかの措置を具体化するよう要望すること。



福岡集落公民館において陳情者から意見を聴取

## ●陳情「AZスーパーセンター大崎店」の出店に対する反対要望について

曾於地区商工会連絡協議会(会長河本正男・安藤廣美大崎町商工会長)から「AZスーパーセンター大崎店」の出店に対する反対要望の陳情が提出されました。

この陳情の取扱いについては、9月定例会で提出されたAZ出店関係の請願書と陳情の趣旨が共通するものであり、先に設置された特別委員会(上原正一委員長)に付託して審議することになりました。

12月定例会においても閉会中の継続審査を決定し、特別委員会において1月29日、阿久根市議会、阿久根商工会議所、AZスーパーセンター阿久根店の事務調査を実施することを決定しました。

※特別委員会の正式名称  
大型小売店「AZスーパーセンターマキオ」出店問題調査特別委員会

## 陳情2件を採択

議会は、ともに陳情の趣旨を妥当と認め、関係各機関に対し、それぞれ意見書を提出しました。

▼介護療養病床廃止中止を求める意見

書採択を求める陳情書

## 意見書の提出先

内閣総理大臣 厚生労働大臣

▼WTO農業交渉に関する陳情書

## 意見書の提出先

内閣総理大臣 農林水産大臣 外務

大臣 経済産業大臣 自民党総合農

政調査会長

## 議会議員定数条例

## 審査特別委員会設置

大崎町議会議員定数条例の一部改正を求める議案が、議員発議により提出されました。

この議案は12月25日、提出者後迫哲矢議員、賛成者6名(上原正一・栢山正木・中山美幸・坂元正春・中倉広文・岩田秀一)の議員により発議されたもので、現在16名の定数を次の一般選挙から12名に削減するため、条例の改正を求めるものです。

提案理由は、定数の削減により議員一人一人の責務を増大させ資質の向上を図り、町民へのより一層の情報公開の下、来るべき分権社会での地方自治体のモデルとなるような議会運営を成しうる目的で発議されました。

条例審査特別委員会(上原正一委員長)への付託となり、閉会中の継続審査となりました。